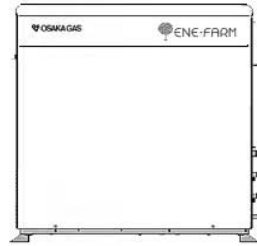


固体高分子形燃料電池コージェネレーションシステム  
燃料電池発電ユニット（家庭用）

# 取扱説明書 保証書付

工事説明書別添

型名：191-TB01  
（都市ガス用）



## もくじ

- 家庭用燃料電池（エネファーム）とは.....2
- ◆安全に正しくご使用していただくために
- 安全上のご注意.....3
- 各部の名前とはたらき.....12
- 使用前の確認と準備.....13
  - ／設置状態の確認
  - ／電気・ガス・水の確認
  - ／運転・停止について
- ◆長く使っていただくために
- 長期間使用しないとき.....15
- 日常の使い方.....15
- 定期的な点検.....16
- 転居されるとき.....17
  - ／電気を切るとき
  - ／使用を中止されるとき
  - ／使用を再開されるとき
- 移設、撤去廃棄されるとき.....17
  - ／移設されるとき
  - ／撤去廃棄されるとき
- ◆故障・異常の見分けかたと処置
- サービスを依頼される前に.....18
- 故障表示.....19
- 異常時の処置.....20
- 停電のときは.....21
- 緊急時など専用ブレーカや基幹ブレーカを切った場合.....21
- 仕様.....22
- ご不明な点や修理に関するご相談は.....24
- サービスを依頼されるときは.....24

このたびは、固体高分子形燃料電池コージェネレーションシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。なお、工事説明書は販売店または工事店から必ず受けとって保管してください。

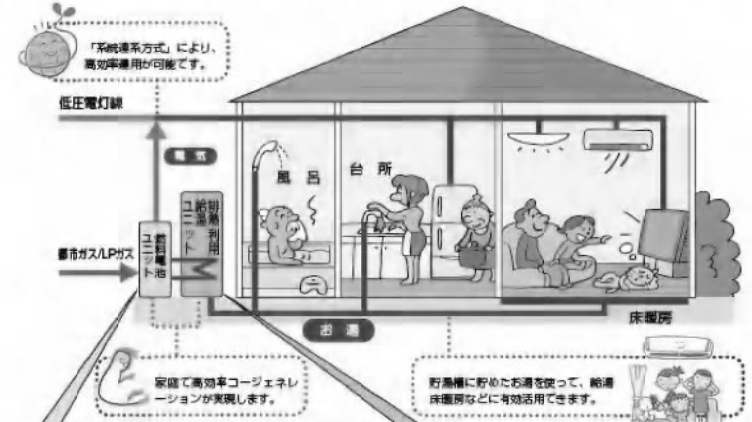
ご使用の前に

お手入れ

お困りのとき

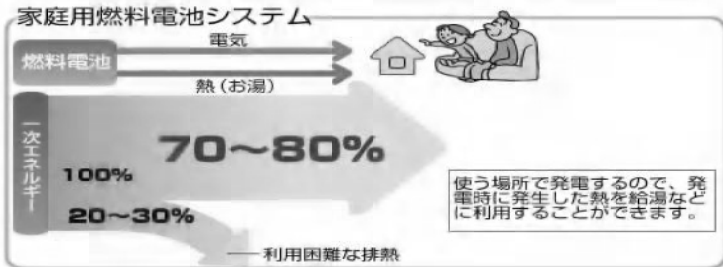
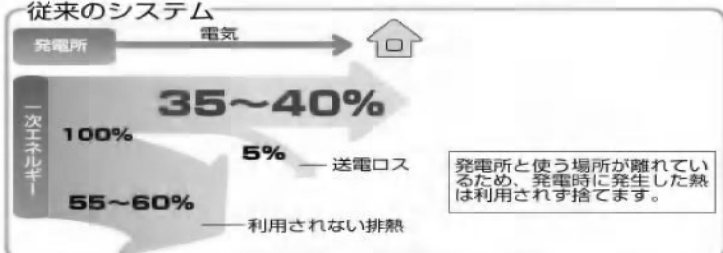
## ●家庭用燃料電池（エネファーム）とは

都市ガスなどのエネルギーから水素を取り出し、大気中の酸素と化学反応させ、水の電気分解の逆の原理で電気と熱と水を同時に供給するコージェネレーションシステム（熱電供給システム）です。電気を使う場所で発電するので送電で発生する無駄がありません。また、従来の発電方式では捨てていた、発電の際に発生する熱も お湯として 利用できるのです、エネルギーを効率よく使えます。また、同じ量の電気と熱を使う場合、これまでよりCO<sub>2</sub>の排出が少なくなります。



**燃料電池ユニット**  
都市ガスやLPGガスを燃料として電気と熱を発生する装置です。

**排熱利用給湯ユニット**  
燃料電池ユニットで発電時に発生する熱を利用してお湯を貯める装置です。






# ◆安全に正しくご使用していただくために

## ●安全上のご注意（必ずお読みください）

お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を未然に防止するための重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

### 【表示の説明】




表示	表示の意味
 <b>危険</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）などを負うことがあり、かつその切迫の度合いが高いこと”を示します。
 <b>警告</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）などを負うことが想定されること”を示します。
 <b>注意</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定されること”を示します。

※1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

※2 障害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

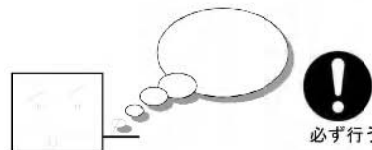
### 【図記号の説明】

図表示	表示の意味
 禁止	この表示は禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 指示	この表示は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 注意	この表示は注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



## ◆ガス漏れに気づいたら

- ・ガス漏れに気づいたら、大阪ガスの処置が終わるまで給湯利用を中止してください。
- ・屋内でガス臭がする場合は、電気器具（換気扇・電灯など）のスイッチを使用しないでください。引火し、爆発事故を起こすことがあります。

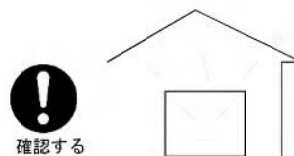


必ず行う

- ① 給湯利用を中止する
- ② 屋内でガス臭がするときは、窓をあける
- ③ 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する

## ◆屋内に設置しない

- ・屋外に設置してください。
- ・開放状態で屋内使用した場合、酸欠や一酸化炭素中毒など、人体に危険を及ぼす恐れがありますので絶対に止めてください。



確認する



## ◆必ず銘板に表示してあるガス種を使用する

- ・銘板の記載が、利用いただけるガス種と一致していることを確認してください。
- ・銘板には利用いただける周波数が記載されていますので、あわせて確認してください。
- ・一致していない場合、正しい運転が行えません。また、故障の原因になります。





警告

◆全体を覆わない

- ・ 周囲を板などで覆わないでください。  
換気不良による異常な温度上昇により、火災の恐れがあります。



確認する

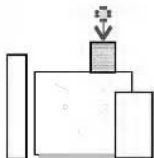


◆吸排気口を塞がない

- ・ 吸排気口を塞がないでください。  
正常な運転が継続できず、不完全燃焼や火災の原因になります。
- ・ 積雪時には、吸排気口が塞がれていないことをご確認ください。



確認する



◆燃えやすい物を近づけない

- ・ 燃えやすい物や、スプレー缶など引火する恐れがある物を近くに置かないでください。  
爆発・火災の恐れがあります。



確認する

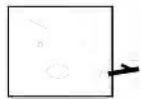


◆開口部に物を入れない

- ・ 排気口など開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落したりしないでください。  
感電、火災の原因になります。



確認する



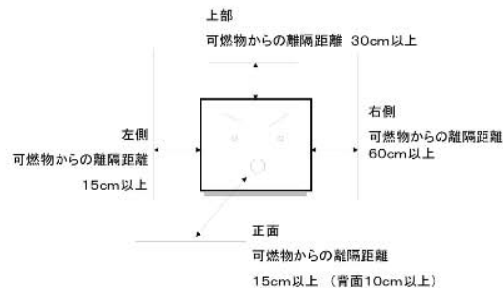
警告

◆可燃物との離隔距離を確保する

- ・ 火災予防のため、可燃物との離隔距離を確保してください。
- ・ 設置した後、可燃物を近くに置かないでください。



確認する





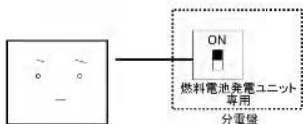
警告

#### ◆燃料電池発電ユニット専用のブレーカを設けてください

- ・燃料電池発電ユニットの専用ブレーカが必要です。
- ・分電盤に専用ブレーカを設け、「発電設備専用」と、表示してあることを確認してください。



確認する



#### ◆電気工事には専門の資格・技術が必要です

- ・燃料電池発電ユニットの設置や移動に伴う電気工事には専門の資格・技術が必要です。必ず販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
- ・増改築や引越などで移設する場合は販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。(移設は工事説明書に従い、有資格者が行います。)

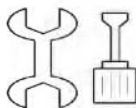
電力会社へ下記手続きが完了した後でないと運転することはできません。

- 増改築による移設(電気の使用場所に変更の無い場合) … 変更手続き
- 引越しによる移設(電気の使用場所に変更の有る場合) … 連系廃止手続き(引越し前)/連系申請手続き(引越し後)
- 引越などによる廃止 … 連系廃止手続き

また、お客様が設置工事をされ不備があると、排気ガスの建物内流入による中毒や感電、火災などの原因になるおそれがあります。



確認する

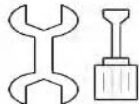


#### ◆ガス接続には専門の資格・技術が必要です

- ・燃料電池発電ユニットの設置や移動に伴うガス配管の工事には専門の資格・技術が必要です。必ず販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。



確認する



#### ◆アース施工を確認する

- ・アースが正しく施工されていることを確認してください。不完全な場合、感電の原因になります。



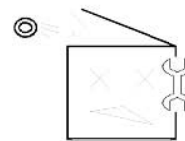
確認する

#### ◆分解・改造しない

- ・分解・改造しないで下さい。感電、火災の原因となります。
- ・分解・改造を行った場合は、保証の対象外になります。



分解禁止





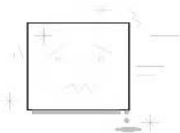
注意

◆運転していない時でもブレーカを切らない

- ・ 運転していない時でも、緊急の場合以外はブレーカを切らないでください。
- ・ 冬季寒冷気候下では、凍結防止機能が停止するため凍結損傷が発生する恐れがあります。



確認する

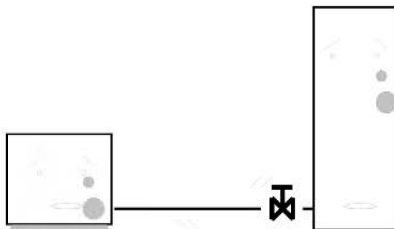


◆配管バルブは閉じない

- ・ メンテナンス作業を除き、配管バルブは閉じないでください。正常な動作が妨げられ、故障の原因になります。



確認する

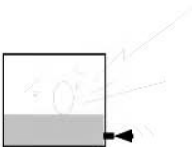


◆ドレン配管を詰まらせない

- ・ ドレン配管の排出先は大気開放とし、泥や落ち葉などの堆積により詰まらせないでください。正常な動作が妨げられ、故障の原因になります。



確認する



注意

◆排気に触れない

- ・ 排気口からの排気に手を触れたり、顔を近づけたりしないでください。万一の場合、中毒ややけどの恐れがあります。



確認する

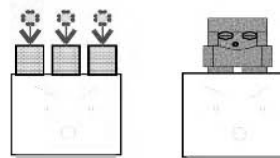


◆上に乗らない 物を置かない

- ・ 燃料電池発電ユニットや配管・配線の上に物を置いたり、登ったりしないでください。落下・転倒により、けがの恐れがあります。また、故障の原因になります。



確認する

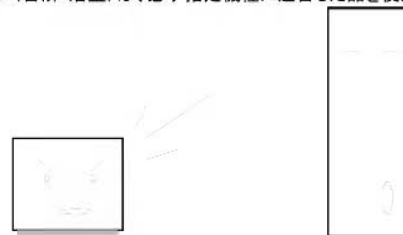


◆排熱利用給湯暖房ユニットは指定機種を使用する

- ・ 排熱利用給湯暖房ユニットは、必ず指定機種(136-CF01)と組み合わせて使用してください。
- ・ リモコン(台所・浴室)は、必ず指定機種に適合した品を使用してください。

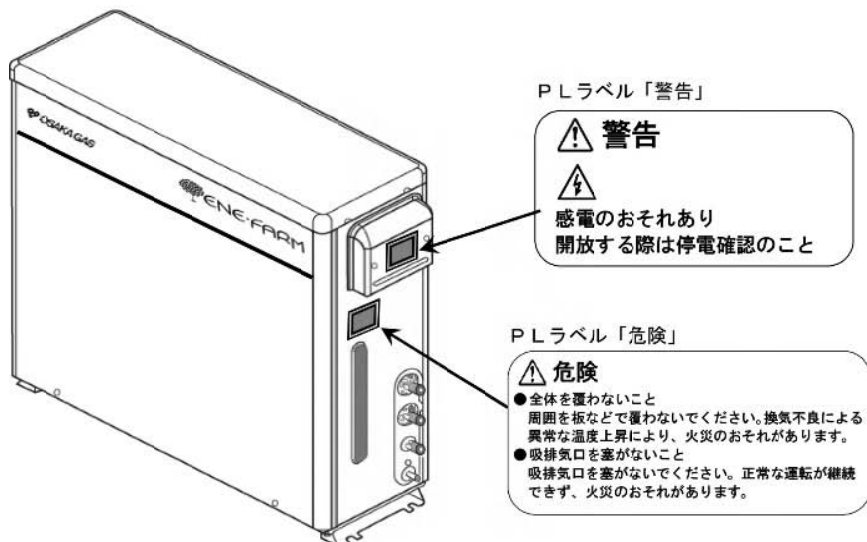


確認する



## ◆安全ラベルの貼付け位置と記載内容

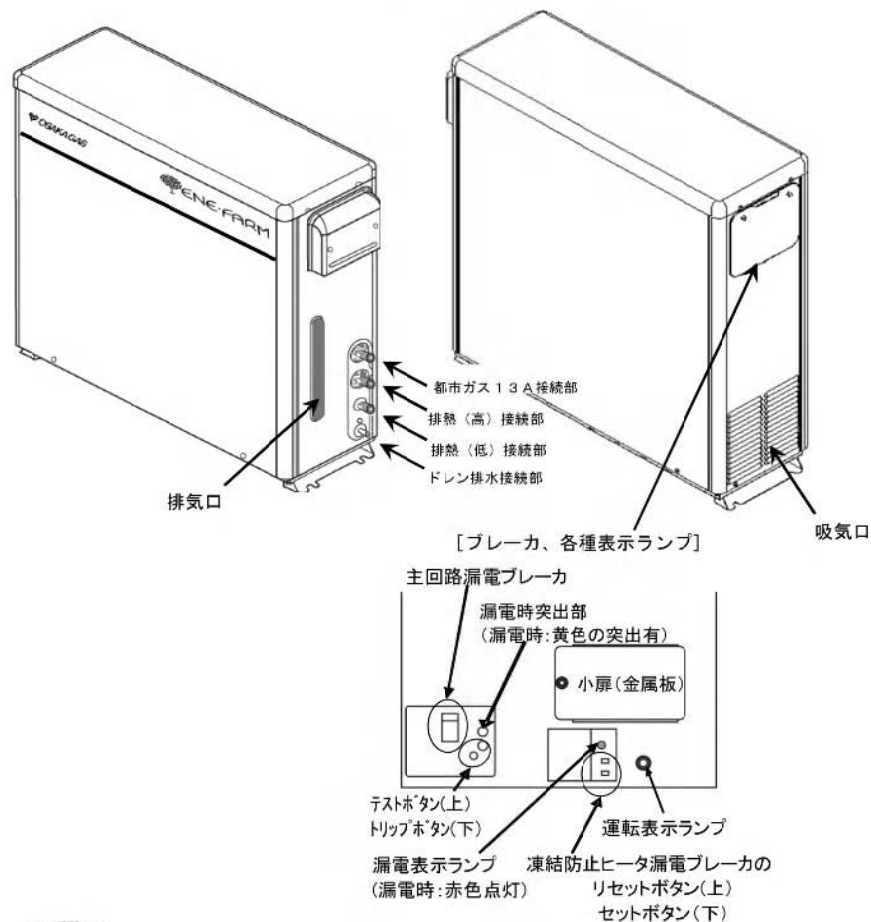
- ・ 固体高分子形燃料電池コージェネレーションシステムを安全に使用いただくために、この機器には安全ラベルが貼ってあります。安全ラベルを全て読んでからご使用ください。
- ・ ラベルは、はっきり見えるように、きれいにしておいてください。
- ・ この機器に貼ってあるラベルが汚れ、破れ、紛失などでよめなくなってしまったときは、担当のメンテ店に連絡して新しいラベルに張り替えてください。



## ●各部の名前とはたらき

### 燃料電池発電ユニット

- ・ 吸気口は左側面にあります。内部の換気と発電に必要な空気はここから取り入れます。
- ・ 排気口は右側面にあります。排気は右方向に排出します。
- ・ 本体ブレーカ（電源：主回路漏電ブレーカ）は左側面の半透明カバーの中にあります。
- ・ 発電している時は、半透明カバーの中の運転表示ランプが緑色に点灯します。
- ・ 起動中または停止中の時は、運転表示ランプが点滅します。



### お願い

緊急の場合を除き、お客様ご自身で半透明カバーを開いて中のスイッチ類に触れないでください。

## ● 使用前の確認と準備

### 設置状態の確認

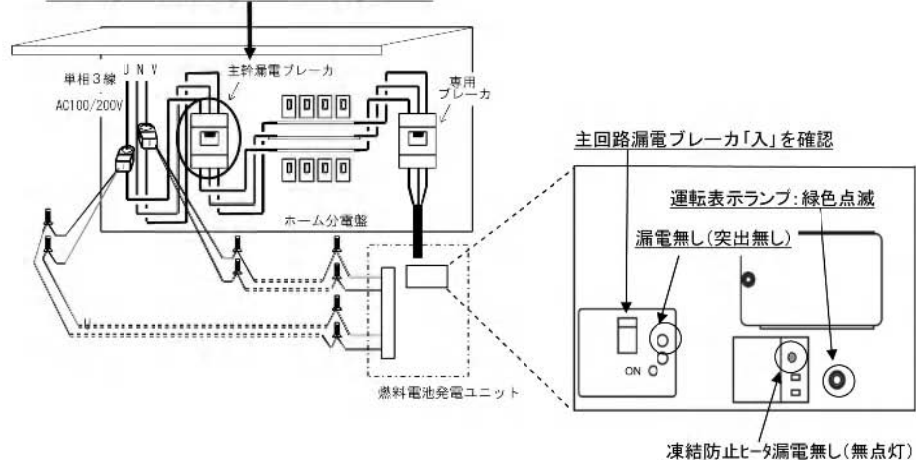
- ・ 燃料電池発電ユニットが板等で囲まれておらず、排気が滞留する恐れがないことを確認してください。
- ・ 燃料電池発電ユニットが水平に設置されていることを確認してください。排熱利用給湯暖房ユニットを含め、設置後に傾斜していないことを確認してください。
- ・ 建屋の開口部（窓、ルーバー、扉など）から離して設置されていることを確認してください。
- ・ 吸気口や排気口のまわりに飛来物の付着や、排気の妨げとなる障害物がないことを確認してください。
- ・ 引火の危険があるもの（新聞紙、灯油缶等）が付近に置かれていないか確認してください。

### 電気・ガス・水の確認

#### (1) 電気の確認

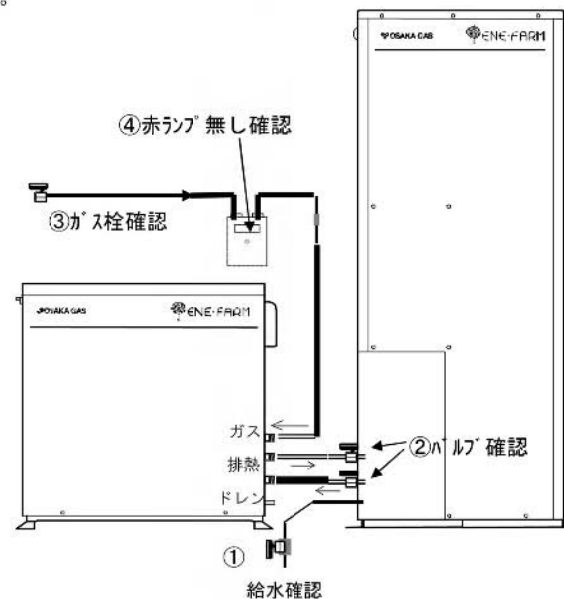
- ・ 屋内分電盤の主幹漏電ブレーカが「入」であることを確認し、燃料電池発電ユニット本体のブレーカ（電源：主回路漏電ブレーカ）と凍結防止ヒータの漏電遮断器が「入」であり、漏電表示が出ていないことを確認してください。
- ・ 燃料電池発電ユニットの運転表示ランプが緑色点滅していることを確認してください。
- ・ 排熱利用給湯暖房ユニットの電源コンセントが抜けていないことを確認してください。

#### 屋内分電盤の主幹漏電ブレーカ「入」を確認



#### (2) ガス・水の確認

- ・ 排熱利用給湯暖房ユニットの給水バルブが開いていることを確認してください・・・①
- ・ 排熱配管のバルブが開いていることを確認してください。・・・②
- ・ ガス栓が開いていることを確認してください。・・・③
- ・ ガスのマイコンメータのランプが点灯していないことを確認してください。・・・④
- ・ 燃料電池発電ユニットおよび周囲の配管から水漏れなどの異常がないことを確認してください。



### 運転・停止について

燃料電池発電ユニットでの操作はありません。（排熱利用給湯暖房ユニットからの信号により自動的に発電の運転・停止を行います。）

排熱利用給湯暖房ユニットの取扱説明書に従って操作してください。

## ◆長く使っていただくために

### ● 長期間使用しないとき

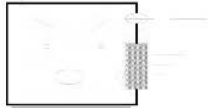
- ・ 旅行等のため長期間使用しないときは、リモコンの「不在停止」を3秒間押し、燃料電池発電ユニットを停止させてください。不在停止の詳細は排熱給湯暖房ユニットの取扱説明書をご参照ください。
- ・ 燃料電池発電ユニットの本体ブレーカ（電源：主回路漏電ブレーカ）を切らないでください。ブレーカの位置は「各部の名前とはたらき」の「燃料電池発電ユニット」の項を参照してください。
- ・ 発電設備専用と表示されたブレーカや、上位の基幹ブレーカを切らないでください。ブレーカの位置などは「使用前の確認と準備」の「電気・ガス・水の確認」の項を参照してください。

### ● 日常の使い方

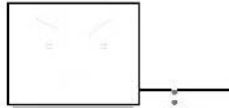
- ・ 学習制御機能で自動的に最適な発電運転を行いますので、不在停止以外の操作はしないで下さい。またひんぱんな起動・停止操作は機器の寿命を低下させる原因になりますので、行わないでください。
- ・ 吸気口や排気口にビニール・落ち葉などの飛来物が付着していないことを確認してください。
- ・ 燃料電池発電ユニットや接続されている配管などから水漏れがないことを確認してください。



点検する



点検する



### ● 定期的な点検

- ・ 燃料電池発電ユニットの性能を維持し、安全に使用するためには定期点検が必要です。
- ・ 機能維持のため、2年毎に定期点検を行います。
- ・ リモコンに「発電ユニット点検」が表示されたときは、担当のメンテ店または大阪ガスにご連絡ください。「近」が点滅した場合（設置または前回点検から運転時間が17200時間経過後）は、もうすぐ点検時期であることのお知らせです。また、「要」が点滅した場合（設置または前回点検から運転時間が17600時間経過後）は、点検時期になったお知らせです。（リモコン表示の詳細は排熱給湯暖房ユニットの取り扱い説明書をご参照ください。）
- ・ リモコンに「発電ユニット点検」が表示され、「過」・「05F」が点滅した場合（設置または前回点検から運転時間が18000時間経過後）は、**点検時期を超過したことのお知らせ**です。燃料電池発電ユニットは運転を停止します。（リモコン表示の詳細は排熱給湯暖房ユニットの取扱説明書をご参照ください。）

#### ・ 定期点検項目

	項目	周期
1	パッケージ換気フィルタの交換	2年
2	空気フィルタエレメントの交換	2年
3	イオン交換樹脂ボトルの交換	2年

- ・ 定期点検は専門知識のあるサービスマンにおまかせください。



注意

- お客様自身で部品の点検・調整はしないでください。
- 異常を見つけたときは、お客様担当のメンテ店または大阪ガスにご連絡ください。



## ● 転居されるとき

### 電源を切るとき

・引越しなどで燃料電池発電ユニットの電源を切る場合は、メンテ店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

### 使用を中止されるとき

・引越しなどで燃料電池発電ユニットの使用を中止する場合は、メンテ店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

### 使用を再開されるとき

・転居後に燃料電池発電ユニットの使用を再開する場合は、メンテ店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

## ● 移設、撤去廃棄されるとき

### 移設されるとき

・増改築や引越しなどで移設する場合は販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。  
(移設は工事説明書に従い、有資格者が行います。)

### 撤去廃棄されるとき

・撤去廃棄される場合は、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。むやみに取り扱われますと重大な事故に繋がる恐れがあります。

## ◆ 故障・異常の見分けかたと処置

### ● サービスを依頼される前に

サービスを依頼される前に次のことをご確認ください。このような現象は故障ではありません。

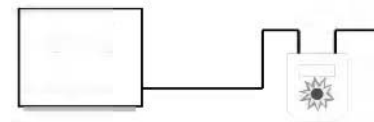
現象	説明
排気口から白煙が見える	換気に含まれる水分が凝縮するためです。気温が低いときに発生する場合があります
排気口から水が滴る	換気に含まれる水分が凝縮するためです。気温が低いときに発生する場合があります
連続的な唸り音がする	内部のプロア・ポンプの運転音です。
連続的な機械音がする	内部のプロア・ポンプの運転音です。
停止させたのに機械音が止まらない	停止・冷却の過程でもポンプが動作しています。また、換気ファンも動作を継続しています。
発電していないのに機械音がきこえるときがある	排熱系の温度管理のためにポンプが動作する音です。
27日に一度、停止する	マイコンメータの誤検知防止のため停止します。
ドレンから水が排出される	運転条件により、微量の余剰水がドレンとして排出されます。
給湯スイッチ「切」を選択しているのに、燃料電池発電ユニットから音がする	「不在停止」を選択していない場合、発電・貯湯のための運転を継続しています。
操作していないのにリモコンの不在停止ランプが点灯している	排熱利用給湯暖房ユニットを約48時間使用しなかったときは、自動的に不在停止が働きます。
発電していないのに、燃料電池発電ユニットの運転ランプが点滅している	停止中でも間欠的に点滅します。

### ◆ このようなことはありませんか？

現象
燃料電池発電ユニットが突然停止し、ガスコンロや給湯、風呂、暖房が使用できない

### 《マイコンメータの保護装置は作動していませんか？》

マイコンメータのランプが点滅しているときは、保護装置が作動してガスが遮断されており、燃料電池発電ユニットの故障ではありません。詳しくはマイコンメータの取扱説明書をご参照ください。サービスを受けられる際には、お客様担当のメンテ店または、もよりの大阪ガスにガスメータ動作の事実を必ず教えてください。



### 《リモコンに何も表示されない》

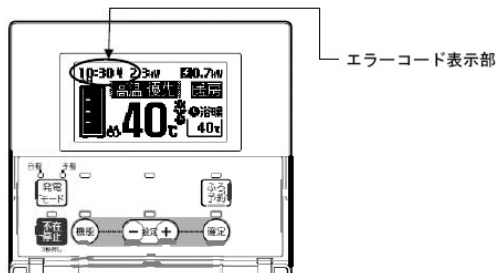
排熱利用給湯暖房ユニットの電源プラグが正しく入っていることを確認してください。

## ● 故障表示

a) エラーコードが表示され、発電の表示が消えた：

燃料電池発電ユニットの故障は、リモコンの表示部の末尾に“F”が付いたエラーコードによって表示されます。このエラーコードが表示されましたら、担当のメンテ店または大阪ガスにご連絡ください。詳細は次頁を参照してください。

その他のエラーコードは、排熱利用給湯暖房ユニット取扱説明書を参照してください。



エラーコード

\*\*F ... 燃料電池故障

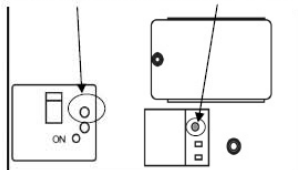
( \*\*には数字が表示されます )

b) エラーコード 769 (通信異常) が表示される：

燃料電池発電ユニットの左側面の半透明カバーを外から目視確認してください。本体ブレーカは ON になっていますか？

もし、ブレーカの漏電表示が出ていた場合、担当のメンテ店または大阪ガスにご連絡ください。

主回路漏電ブレーカ 凍結防止ヒータ漏電ブレーカ  
漏電時突出部 漏電表示ランプ  
(漏電時：黄色の突出有) (漏電時：赤色点灯)



## ● 異常時の処置

・以下のエラー表示があった場合は、お客様担当のメンテ店または大阪ガスに連絡してください。

エラー表示	説明	エラー表示	説明
05F	メンテナンス時間経過	60F	原燃料ガスフロア異常
10F	可燃ガス検知	61F	改質器バーナ空気フロア異常
11F	改質器バーナ点火失敗	68F	原燃料入口電磁弁異常
12F	改質器バーナ失火	69F	ヒータ系過熱異常
15F	起動異常(起動ステート渋滞)	77F	制御装置異常
20F	換気フローズスイッチ低	80F	脱酸素温度センサ異常
24F	電池冷却水圧カススイッチOFF	81F	燃料予熱器温度センサ異常
30F	改質器温度異常	82F	改質器温度センサ異常
33F	脱酸素温度異常	83F	改質器触媒温度センサ異常
34F	CO生成器3温度異常	84F	CO生成器1温度センサ異常
35F	CO生成器1温度異常	85F	CO生成器2温度センサ異常
36F	CO生成器2温度異常	86F	CO除去器温度センサ異常
37F	CO除去器温度異常	87F	水蒸気露点温度センサ異常
38F	蒸気発生器温度異常	88F	電池冷却水出口温度センサ異常
39F	燃料予熱器温度異常	89F	水処理装置温度センサ異常
42F	電池冷却水出口温度異常	95F	蒸気供給系異常
43F	アノード入口温度異常	A1F	改質器圧力高
44F	パッケージ温度異常	A2F	改質器保圧異常
45F	排熱回収水(余剰ヒータ出口)温度異常	A4F	S/C低
47F	燃料予熱器温度低	B0F	温水温度センサ異常
48F	水処理装置温度異常	B1F	アノード入口温度センサ
50F	原燃料流量センサ異常	B2F	CO生成器3温度センサ異常
51F	選択酸化空気流量異常	C0F	電池電圧低
52F	改質器バーナ空気流量異常	C4F	電池電流低
53F	カソード空気流量センサ異常	C5F	電池電圧低時間超過
55F	可燃性ガスセンサ異常	C6F	インバータ異常
56F	燃料ガス圧力センサ異常	E0F	商用電流検出異常
58F	電池冷却水圧カスセンサ異常	F9F	逆流流検出
59F	ヒータ加熱系センサ異常		

・以下のエラー表示があった場合は、下表の「確認・処置」を行ってください。

エラー表示	説明	確認・処置
76F	貯湯ユニット通信異常	燃料電池ユニットの本体ブレーカがONになっていることを確認してください。ブレーカの漏電表示が出ていた場合、担当のメンテナンス会社にご連絡ください。
A0F	燃料供給圧低	ガス元栓が閉まっているか、ガスメータがガスを遮断していないかを確認してください。ガスが流れていることが確認できたら、リモコンの給湯ボタンをOFF/ONしてリセットしてください。

異常が回復しない場合は、次の処置を行ってください。

- ① お客様担当のメンテ店または大阪ガスに連絡してください。
- ② ガス漏れがないことを確認し、異常があるときは元ガス栓を閉じてください。

・地震等の災害時は、次の処置をお願いします。

- ① 給湯利用を中止してください。
- ② 暖房端末機の運転を中止してください。
- ③ リモコンの「不在停止」を3秒間押し、燃料電池発電ユニットを停止させてください。
- ④ ガス漏れがないことを確認し、異常があるときはガス栓を閉じてお客様担当のメンテ店または大阪ガスにご連絡ください。



- お客様自身で部品の点検・調整はしないでください。

## ● 停電のときは

- ・燃料電池発電ユニットが運転中に停電した場合：
  - －発電を停止し、燃料遮断弁を閉止し、自動的に安全な停止を行います。
- ・燃料電池発電ユニットが停止中に停電した場合：
  - －燃料電池発電ユニットは起動しません。

### ・復電後の処置

必ず排熱利用給湯暖房ユニットの時計合わせを行ってください。  
排熱利用給湯暖房ユニットの取扱説明書をご参照ください。

時計を合わせることで燃料電池発電ユニットが自動運転します。

排熱利用給湯暖房ユニットの学習機能等により、すぐに運転（発電）しない場合がありますが故障ではありません。

## ● 緊急時など屋内の専用ブレーカや基幹ブレーカを切った場合

- ・再使用前に「使用前の確認と準備」を行ってください。
- ・排熱利用給湯暖房ユニットの取扱説明書に従い、排熱利用給湯暖房ユニットが使用状態（運転状態）であることを確認してください。  
(排熱利用給湯暖房ユニットの時計合わせが行われていることを確認してください。)

## ● 仕様

### ◆ユーティリティ

項目		仕様
設置		屋外設置
ユーティリティ条件	ガス	都市ガス13A
	電気	単相三線式 AC100V/200V 60Hz
ガス消費量(最大)		2.0 kW(定格運転時)
消費電力(最大)		1.3 kW(起動時) 0.25kW(待機時凍結防止運転時)
接続	ガス	R 1/2 15A TU
	電気	VVF-φ2-3C
	排熱(高/低)	R 1/2 15A
	ドレン	15A (同梱ホースを接続、1/50下り勾配)
	接地	D種接地

### ◆基本仕様

項目	仕様	備考
定格出力(W)	700	
最低出力(W)	250	
発電効率(%)	35	(定格)
総合効率(%)	85	(定格)
騒音dB(A)	38以下	無響室内、正面1m
起動時間	1時間以内(発電まで)	
寸法(mm)	W890×H895×D300	高さは脚を含む
重量(kg)	104(乾燥重量)	
運転モード	学習制御	
系統電力との関係	逆潮なし系統連系ガイドライン準拠	無償逆潮なし
適合機種	FCG-201B(136-CF01型)	適合する排熱利用給湯暖房ユニット型式

## ● ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は、お客様担当のメンテナンス店または大阪ガスにご相談ください。



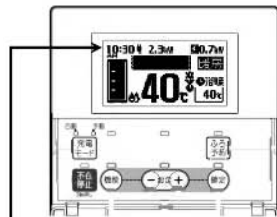
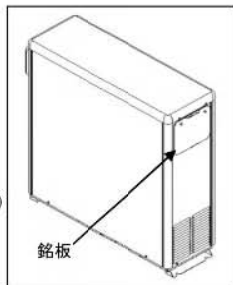
担当会社様へ：本説明書をお客様にお渡しになる前に、異常時の連絡先を記載してください。

## ● サービスを依頼されるときは

ご使用中に異常が生じたときは、「◆故障・異常の見分けかたと処置」にしたがって調べていただき、なお異常があるときは、お使いになるのをやめ、お客様担当のメンテナンス店または大阪ガスにご相談ください。

### ■ ご連絡いただきたい内容

- ① 品名 燃料電池発電ユニット
- ② 型名 191-TB01
- ③ 製造番号 \_\_\_\_\_  
(銘板に記載されています。事前に記入しておくとう便利です)
- ④ 故障状況 (できるだけ具体的に)  
・台所リモコンに表示されているエラーコードは？
- ⑤ ご住所
- ⑥ お名前
- ⑦ 電話番号
- ⑧ 訪問希望日



エラーコード表示位置  
(異常が生じたときに表示されます)